



『たんぽぽ』で50人目の 赤ちゃんが誕生しました!



今年3月1日にオープンした院内助産所「たんぽぽ」にて8月5日、ご主人や友人に見守られる中、赤ちゃんが誕生しました。お母さまと妊娠経過を見守ってきた助産師が喜びを分かち合いました。

【理念】キリスト教精神に基づく「病人愛」
【運営方針】この地域にしっかりと根差し、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

市民公開講座 開催 『食べ物が飲み込みにくいとき』

日時: 9月12日(土) 13:00~15:00

場所: 聖隷三方原病院 救急棟3階 大ホール

講師: リハビリテーションセンター医師 佐藤 友里

栄養科 管理栄養士

鈴木 詩織

※参加費無料

※予約制(先着100名)となりますので、お早めにお申し込みください。

無料サンプルをご用意します。多数のご参加をお待ちしております。

お申込み方法: 「市民公開講座参加希望」と明記のうえ、参加を希望される方のお名前をご記入いただき、

FAX: 053-438-1126 E-mail: noriko-s@sis.seirei.or.jp

のどちらかにて9月10日(木)12時までにお申込みください。

看護師募集について ～復職・中途採用をお考えの方へ～

聖隷三方原病院では看護師を募集しています。随時、ご相談を承っておりますので、担当者までご連絡ください。なお、併せて病院見学も受付けておりますのでご利用ください。

また、ご友人やお知り合いの方で看護師として就職・復職を考えておられる方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

お問い合わせ: 聖隷三方原病院 総務課 担当: 鈴木、加藤

TEL: 053-439-9050(直通)、FAX: 053-438-2971

E-mail: mk-hosp@sis.seirei.or.jp

おしらせ

2009年度 フェスタおおぞら

開催日: 2009年9月13日(日)

時間: 午後1時～午後3時

場所: 聖隷おおぞら療育センター
正面外来駐車場および施設内ホール等

内容: 電子オルガンコンサート
(財)ローランド芸術文化振興財団助成
和太鼓演奏、フラダンス、模擬店、バザー、近隣福祉施設によるフリーマーケット等



『みどりの通信』へのご意見、ご感想をお待ちしております。
皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail: mikwebmaster@shiseirei.or.jp FAX: 053-435-2971 みどりの通信編集部

栄養科通信9月

秋におすすめ『きのこ』

秋は美味しいものがたくさん実る季節です。食欲の秋とも言いますが、食べ過ぎには注意しましょう。食事の満足感を高めるために、低カロリーのきのこ類で食事のボリュームをアップさせるのもおすすめです。

しいたけは、日本でもっとも多く栽培されているきのこです。エリタデニンや豊富な食物繊維が含まれているため、血中コレステロールを下げ、高血圧や動脈硬化の予防改善に効果があると言われています。

また、しいたけに含まれるエルゴステロールは、紫外線に当たるとビタミンDになります。ビタミンDはカルシウムの吸収を助ける働きがある成分ですが、より多くのビタミンDを摂るためには、しいたけを30分程度日に当てるといいでしょう。

※干しいたけも、最近では機械で乾燥させたものが数多く出回っていますので、もう一度ご家庭で天日干しにするのがおすすめです。

簡単! 旬のレシピ

しいたけとニラのスープ

《栄養価 1人分》

エネルギー	35kcal
食物繊維	1.5g
塩分	1.3g

1人分

生しいたけ	30g(1~2個)	水	150cc
ニラ	15g	鶏がらスープの素	小さじ1杯
卵	1/4個	塩コショウ	各少々

《作り方》

- ① しいたけは薄切り、ニラは3cm長さに切る。
- ② 分量の水と鶏がらスープの素を煮立て、しいたけを加えて軽く煮る。
- ③ ニラを加え再び煮立ったら、卵を溶いて糸状に流し入れる。
- ④ 塩とコショウで味を調えて、できあがり。



栄養科 管理栄養士 伊熊 美紀

ちけん？チケン？^{ちけん}治験ってなんだろう？ 第1回

～くすりが誕生するまで～

治験管理室
岩品 美樹

生まれてから今までに“くすり”を飲んだことがないという方は、ほとんどいないでしょう。

私たちが病気やけがの治療に使っているくすりは、どのように世に送り出されたのでしょうか。

それは研究者や医師の力だけで誕生したのではありません。現在使われているくすりは、何年もかけて多くの人の努力と患者さまのご協力によって創り出されたものです。

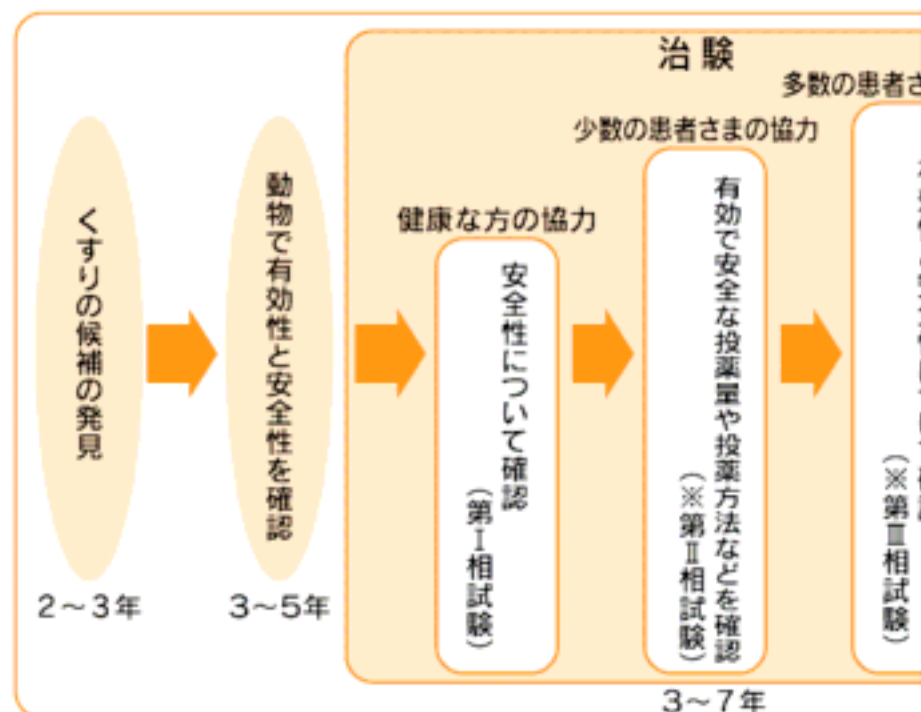
皆さまは「治験(ちけん)」という言葉をご存知でしょうか。

「ヒトを対象とした治療を兼ねた試験(病気の予防や治療について科学的に調べる研究)」を「臨床試験」と呼びます。そのうち「くすりの候補」が“くすり”として国(厚生労働省)に認めてもらうために行われる臨床試験を「治験(ちけん)」と呼びます。

治療の選択肢のひとつとして「治験(ちけん)」に参加していただくことがあります。



“くすりができるまで” ⇒ 当院ホームページでもご覧いただけます。
(部門のご案内→治験管理室→一般の方へ)



ひとつのくすりが誕生するには、10年以上もの長い研究“くすりの候補”となる新しい物質が発見されると、まず確認と安全性(副作用)の評価が行われます。

その後、動物の試験で十分な効き目と安全性が確認され、多くの患者さまにご協力いただき、有効性と安全性を調べます。有効性や安全性に問題が生じた場合は、開発が中止され、その15万分の1といわれています。

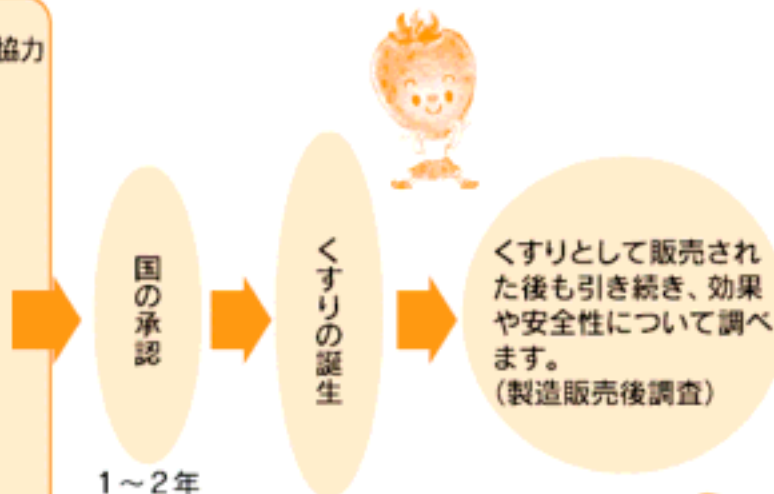
☆次回



現在も多くの患者さまが、よりよいくすりの誕生を待ち望んでおられます。新しくくすりを世の中に送り出すためには、患者さまのご協力が必要です。皆さまのご協力をお願いいたします。

皆さまの協力

有効性と安全性について確認



治験は3つの段階に分けて慎重に進められます。
※当院は第Ⅱ相試験と第Ⅲ相試験を行っています。



開発期間を必要とします。

は動物でさまざまなテストを繰り返し、有効性(効き目の

こものが、人でも実際に役立つかどうか確かめるために、

るため“くすりの候補”から“くすり”になる確率はおよ

は、「患者さまが治験に参加するまで」をご紹介します。

イラスト：ファルマバレーセンターキャラクター

ボランティアを募集しています

当院でのボランティア活動に関心をお持ちの方はぜひ、「ボランティア説明会」にご参加ください。

日 時：10月8日(木) 14:00～15:30

場 所：聖隷三方原病院 管理棟2階 小会議室

お申し込み・お問い合わせ

聖隷三方原病院 ボランティア担当 山口

T E L : 053-436-1251 (代表) (内線6332)

地震総合訓練を行います。

10月1日(木) 17:30～18:30に地震防災訓練を行います。地震発生時の広域災害に備えて、的確な初動活動や傷病者の受け入れなどを、病院全体で実施します。院内放送や患者搬送などでご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



編集後記

9月になり、空気が澄んでくる時期に夜空に浮かぶ「名月」はひときわ美しいですね。お月見は、もとは神に収穫を感謝する農耕行事でした。

お供えには、里芋などの芋類や栗、柿などの秋の味覚が並びます。その年の月の数だけ(平年は12個、うるう年のみ13個が一般的)月見団子をお供えし、ススキを飾ってお月様が顔を出すのを待ちましょう。

今月の星座：はくちょう座

夏の天の川に横たわる大きな十字型の星座です。尾の部分にある主星デネブは、アルタイル、ベガとともに「夏の大三角」と呼ばれます。見ごろは9月下旬なのでこれからきれいに見える星座です。

今月の色：オレンジ ひまわりのオレンジ色です。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 荻野 和功
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453
TEL 053-436-1251(代) / FAX 053-438-2971

